

# 雪遊び～カードあれこれ～

ふゆをたのしもう

名まえ \_\_\_\_\_

すべりだりA グループ

2月 7日 入 よう日

やったこと・おもったこと

すべりだりグループはすべり  
風をつくります。さいしあやった  
ときは、必ずかしづかにけじ  
とんでもなくこのひんたんこなさいに  
ほ、かんこんになりまくにあたしは、  
へたれにフスラやさきはこびます。

つぎにやりたいこと

つぎに、わたしほ、じんぶ、だ  
いきつくつたりげす。

## 気付き！

雪を使った作業ばかりに時間  
を使うのではなく、自分たちの作  
った「遊びのお店」でたっぷり遊  
ぶことも大切な活動です。ある程  
度進んだ時に、試して遊ぶ時間  
をつくることで、更なる工夫に向か  
うことができます。

また、時には他のグループにも  
遊びに行く時間をつくることで、  
子どもは、「自分たちのお店との  
違い」や「楽しさの秘密」を見付  
けます。それが、次の雪遊びへの  
意欲となっていきます。

じぶんのおみせ



すべりだりB グループ

おともだちがすべってくめて  
いたのしがたよこかわりかどつて  
りわれてじぶんもうれしくなり  
ました。

自分のお店で楽しんでもらえたこと  
もうれしいことですし、他の友達から掛  
けてもらった言葉が次の雪遊びへのエ  
ネルギーとなります。

たっぷり遊んだ後に活動を振り返り  
カードにかくと、一人一人の気持ちや次  
への意欲を知ることができます。

## みつけたよ！

ふゆそげんきに①

そとあそびしたよ！

2

2

なまこ



すっごく小さか、たゆきナシが  
す。ごく大きくなつたので  
ひっくりました。

## みつけたよ！

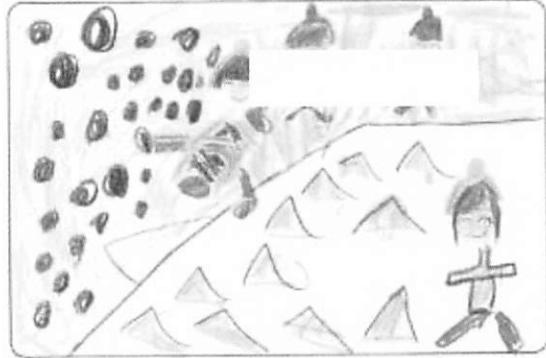
ふゆそげんきに②

又あそびをしたよ。

2

28

なまこ



ともだち4人でたのしくあそび  
す。とけちゃうくて雪つかついてかしく  
あそぶたよ。

雪がくっつくと大きくなるこ  
とに驚いています。

前に雪遊びした時と気温、雪質  
などを比較するような言葉掛け  
をすると、より気付きを引き出す  
ことができます。

友達と体を使って遊ぶことは、  
子どもの数が昔に比べて少ない  
現代では大切な経験です。

尻滑りで友達とつながって滑  
ると思わず歓声が上がります。

## あるある NG!

雪像づくりをする際、スコップやそり、バケツなどを教師が「持っておいで。」、あるいは「持ってきていいよ。」と事前に言っていないでしょうか。

教師は、これから行う活動を予想して、何が必要か分かっています。ですから、ついつい先に指示してしまったり、持ってくる物を伝えてしまったりしがちです。実際に一度活動し、子どもたちから「〇〇を使いたい。」「△△を持ってきてよいですか？」と言われてからでも遅くはありません。